

平成28年度事業報告

事業報告

I 会務報告

1. 秋篠宮殿下誕生茶会

平成28年11月30日秋篠宮殿下誕生茶会に、箕輪名誉会長、田中潔会長、桜井、梶谷、田中惣次副会長、杉山常務の6名が参加した。

2. 会議の開催

(1) 平成28年5月10日、第1回理事会を開催し、総会提出議案を審議・決定した。

(2) 平成28年5月27日、通常総会を開催し、平成27年度の事業報告・決算について審議し原案どおり承認されると共に、平成28年度の事業計画・予算について報告した。

総会に先立ち参与会議を開催し、「創意工夫表彰行事」で優秀賞を受賞した長野県青木村若林達氏から写真で見る“間・択伐林の伐根クリタケ栽培”について話題提供をして頂き、意見交換を行った。

(3) 平成28年8月10日、第2回理事会を書面開催し、第1四半期の事業実施結果の概要を理事、監事に報告した。

(4) 平成28年10月25日、第3回理事会を開催し、上半期の事業実施結果及び予算の執行状況について報告するとともに、下半期の主要事業について説明した。

(5) 平成29年3月7日、第4回理事会を開催し平成29年度事業計画及び予算について審議し、決定した。

(6) このほか、毎月、常務役員会を開催し、会務運営の重要事項について協議した。

3. 会員の動向

平成29年3月31日現在の会員数は、正会員819名（うち外国会員1名）、特別会員30名計849名となっている（平成28年3月31日比で21名の増加）。

4. 公益法人関係

(1) 平成28年6月30日付けで、内閣府公益認定等委員会に対し、平成27年度事業実施結果及び決算を報告した。

(2) 平成29年3月29日付けで、内閣府公益認定等委員会に対し、平成29年度事業計画書及び収支予算書を報告した。

II 事業の実施

森林・林業を取り巻く諸情勢を踏まえつつ、①普及啓発事業、②調査研究事業、③山林事業、④文献センター事業の4つの公益事業に取り組んだ。

1. 普及啓発事業（公－1）

（1）森林・林業に関する指導、奨励及び普及

- ① 平成28年4月1日青山霊園において日本近代林学の創始者である松野礪(はざま)先生の墓参をし、業績を顕彰した。
- ② 平成28年6月3日開催の樹木医会兵庫大会に田中潔会長が出席し挨拶した。
- ③ 平成28年6月4日開催の「第45回全国林業後継者大会」(長野県)に田中惣次副会長が出席し、激励の言葉を述べた。
- ④ 平成28年6月5日開催の「第66回全国植樹祭」(長野県)に田中潔会長が出席した。
- ⑤ 平成28年6月15日開催の「全国林業普及懇話会通常総会」(京都府)に田中潔会長が来賓として出席し、挨拶を行った。
- ⑥ 平成28年7月12日開催の「第64回全国乾椎茸品評会表彰式」に協賛し、来賓として田中潔会長が出席し、大日本山林会会長賞を授与した。
- ⑦ 平成28年8月2日日本多静六賞授与式に審査委員長である田中潔会長が出席し、挨拶した。
- ⑧ 平成28年10月9日開催の「第40回全国育樹祭」(京都府)に桜井副会長が出席した。
- ⑨ 平成29年1月14日全国林業試験研究機関協議会主催による「第50回林業技術シンポジウム」(東京都)に田中会長が出席し、来賓挨拶した。
- ⑩ 平成28年2月25日開催の「日本森林インストラクター協議会定時総会」(東京都)に桜井副会長が出席し、来賓祝辞を述べた。
- ⑪ 平成28年3月22日埼玉県主催本多静六賞の選考委員長を田中会長が務めた。
- ⑫ 関係団体等の開催するシンポジウム等に幅広く出席すると共に、情報の収集・交換に努めた。
- ⑬ 「緑の募金支援団体」としての募金協力、関係団体への活動支援などを通じ、森林・林業の奨励・普及に努めた。

（2）森林・林業に関する講習、研修及び講演会の開催

- ① 平成28年6月29日三会堂ビル石垣ホールにおいて、内山節氏の山林誌「山里紀行」掲載300回記念「森の未来・森の可能性」―大日本山林会とともに歩んだ三十有余年―と題した講演会を実施した。
- ② 平成28年10月12日～14日、青森県において「長伐期優良材生産の可能性と天然青森ヒバを訪ねて」をテーマに現地研修会を実施した。三戸郡の山本家、田中林業の山林経営及び眺望山国有林の見学、青森県一戸林政課長からの話題提供による意見交換会などを実施した。参加者は26名(うち女性7名)で、当会からは田中潔会長以下7名が参加した。
- ③ 東京農業大学において「現代社会と経済」の講義を原参事が実施した。

④ 平成28年12月8日立教大学コラボレーション科目のゲストスピーカーとして林業の可能性を「持続可能な地域社会を考える」と題して桜井副会長が1時限（90分）講義した。

(3) 国外への林業振興上の技術援助

- ① 海外会員への『山林』の送付などを通じ、海外との情報交換に努めた。
- ② オーストリア大使館上席商務官と森林技術者教育の推進について意見交換した。

(4) 森林・林業教育の振興及び研究の助成

- ① 高校での林業教育を取り巻く課題について現況把握すると共に、現場教員との交流を深めるため、平成28年8月3・4日、東京都において開催された第1回全国高等学校農業教育研究協議会 環境技術・創造部会（開催校：東京都立農芸高等学校）を後援し、桜井副会長外が出席して挨拶を行った。平成29年度は、山梨県で開催の予定。
- ② 平成29年3月29日から鹿児島市の鹿児島大学農学部で開催された「第128回日本森林学会大会」に協賛し高校生ポスター発表会において最優秀賞楯、参加賞等を贈呈するとともに表彰式で田中会長が挨拶した。

(5) 森林・林業に関する発明、改良の奨励

平成28年度の「創意工夫表彰」行事について、平成28年9月1日から平成29年1月31日まで募集を行い、応募のあった4件について、平成29年2月21日開催の審査委員会において審査を行い、次のとおり受賞者を決定した。

優秀賞	小林 裕之	(富山県)
	森林境界明確化支援システムの開発	
奨励賞	山本 一雄	(青森県)
	「バックホウ取付グラップルアタッチメント」の開発	
奨励賞	加藤善次郎	(山形県)
	樹皮で見分ける選木術	
奨励賞	安藤 実	(栃木県)
	国産材による不燃木材の開発	

(6) 森林・林業に関する刊行物の発行

- ① 月刊誌『山林』を第1583号～第1594号まで発行した。
- ② 第55回農林水産祭参加林業経営推奨行事受賞団体の経営概要を要約した「選ばれた林業経営」を刊行した。
- ③ 山林誌 羽賀正雄「緑の切手」掲載30年記念誌を刊行した。
- ④ 平成29年3月20日付けで、山林誌に48回連載された中野達夫氏の「国宝木造建築を訪ねて」に2編加えて50回分としたものをまとめて農林水産叢書 No.76（農林水産奨励会発行）として発行した。
- ⑤ 「日本の森林と林業」、「森林経営の新たな展開」、「昭和林業逸史」をはじめとする既刊本の販売に努めた。
- ⑥ 神宮宮域林造林奉仕65周年記念誌の刊行について、神宮司廳営林部と出版打合せを行った。

(7) 森林・林業功労者の表彰

- ① 第55回農林水産祭参加全国林業経営推奨行事については、都道府県から推薦を受けた優良林業事業体について、2度にわたる審査委員会及び該当地域所管の森林管理局森林整備部長による現地審査を経て、平成28年7月31日付けで農林水産大臣賞8点、林野庁長官賞16点、大日本山林会会長賞4点計28点を決定した。

平成28年11月8日本会総裁秋篠宮殿下の御臨席の下賞状伝達・贈呈式及び祝賀パーティーを挙行し、約150名が出席した。

- ② 平成28年12月13日伊勢神宮崇敬会の実施する農事関係功労者顕彰行事において、本会が推薦した静岡県の仁藤宏之助氏（本会元会員）が林業部門で表彰された。また田中会長が出席し来賓代表として祝辞を述べた。

2. 調査研究事業（公-2）

- (1) 平成27年度林業経済研究所委託調査「森林所有権流動化の現状と森林管理の展望」の報告書を関係者に配布した。
- (2) 平成28年度も引き続き「森林所有権流動化の現状と森林管理の展望 II」を林業経済研究所に調査委託した。

3. 山林事業（公-3）

- (1) 平成28年4月13日、桜井副会長、吉川参事、小林主事が大多喜所有林（千葉県）の現地調査を行った。
- (2) 平成28年4月21・22日、小林主事が日本森林技術協会田川前橋事務所長とともに横川部分林（群馬県）の現地調査を行った。
- (3) 平成28年6月9日、桜井副会長、吉川参事、小林主事が久留里部分林（千葉県）の現地調査を行った。
- (4) 平成28年8月19日、日本森林技術協会に委託した大多喜所有林（千葉県）の林分調査報告書が提出された。
- (5) 平成28年10月1日、東京農業大学森林総合科学科森林経営研究室に委託した横川部分林（群馬県）のスギ品種試験地調査報告書が提出された。
- (6) 平成28年12月6日、日本森林技術協会に委託した久留里部分林（千葉県）林分調査報告書が提出された。この調査の結果、植栽された外国樹種のテーダマツ、カリビアマツ、センペルセコイアは、テーダマツ以外は存在せず、テーダマツも林分状をなしていないことがわかった。成長比較試験の目的で植えられたスギのオビアカ、ウラセバル、クモトウシ、オドリの各系統も植栽後の補植時にジスギ等別系統のスギやヒノキが植えられたようであり、加えて溝腐れや内部腐朽による奇形幹が目立つなど観察されたため、これらの成長試験は今季で打ち切ることにした。

4. 文献センター事業（公-4）

- (1) 平成28年6月30日、文献センター運営委員会を開催し、前年度の事業報告及び今後の事業運営等について協議した。なお、新委員長に大橋邦夫東京大学名誉教授が就任。

- (2) 「収蔵文献・検索システム」に登録されている文献数は、平成28年3月31日現在で、28,713件となっている。
- (3) 機関誌『山林』を検索できる「山林誌検索システム」を平成28年10月1日に公開した。
- (4) 東京都公園協会主催 林学博士本多静六生誕150年展一日比谷公園も、明治神宮も—（平成28年8月1日～10月19日）に森林家必携初版、本多造林学本論・各論等の文献を貸し出した。
- (5) 文献センター元職員の三井昭二三重大学名誉教授が第10回みどりの学術賞を受賞した（平成28年5月19日）。
- (6) 文献センター資料を活用した岡本貴久子著書「記念植樹と日本近代林学者本多静六の思想と事績」が思文閣出版から出版された。

5. 収益事業（収－1）

基本財産を有効に活用し、収益事業を実施した。